

# 新年のごあいさつ

美波町長 影 治 信 良



新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、お健やかに初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は、町政の各般にわたり温かい、しかも深いご理解とご支援をいただきありがとうございます。

さて、町では東日本大震災発生以来、南海トラフ巨大地震の発生を想定し、様々な防災・減災対策に取り組んでおります。昨年は防災ヘリポート、防災行政無線のデジタル化、避難階段の新設、ハザードマップ作成着手をはじめ、鳥取県町村会や民間企業との災害応援協定の締結並びに初めて美波町を主会場とした、徳島県南部総合防災訓練も実施いたしました。徳島県においては、新たに南海トラフ巨大地震被害想定(第二次)及び津波警戒区域の公表、国においては、南海トラフ地震対策特別措置法が制定されるなど、防災・減災に向けた環境整備が加速するものと思われまします。引き続き、住民の皆様と協働して、さらなる防災・減災対策に取り組んでまいりますので、住民の皆様におかれましても、常日頃から、改めて想定を超える災害が起こりうるのだという認識と、自然に対する畏敬の念を持ち、防災意識を高めていただくと共に、自分の命は自分で守る「自助」と地域住民が互いに助け合う「共助」の気持ちを持っていただきましますようお願い申し上げます。

また、東日本大震災での復旧・復興が遅れている原因の一つに個人の土地の境界が不明と言うことが挙げられていることもあり、町では昨年より地籍調査に着手いたしました。地籍調査は土地の戸籍調査ともいべき調査で、広範囲なにもシリーズで掲載中ではありますが、町では災害が危惧される沿岸部及び山林を中心に進めていくことと致しておりますので、ご理解とご協力をお願い致します。

十月には疲弊している地場産業を農・林・水・商・工・観光の連携により再生するため、「町産業関連施策検討懇話会」を立ち上げました。まだ、緒に就いたばかりではありますが、町産業振興の足掛かりを探るため、関係

者の知恵をお借りしながら進めてまいりたいと考えているところでありまします。

子育て支援対策としては、四月から保育園・幼稚園における第三子以降の保育料・授業料等の無料化実施と併せて「すくすく美波っこ基金」を新設いたしました。今後とも、子育てに優しいまちづくりを推進するとともに、日和佐地区幼保施設の移転整備についても鋭意取り組んでまいり所存であります。また七月には高齢社会を豊かに暮らして頂くための交通手段の確立に向け、デマンド型乗り合いタクシーの実証実験にも着手いたしました。現行のタクシー助成制度も合わせ、よりよい公共交通システムの構築に努めてまいります。

さて、本年はいよいよ、「美波町立病院」並びに「美波町医療保健センター」の建設に着手いたします。平成二十八年のオープンを目指し、町民の皆様が安心して生活できる医療・保健・福祉・介護等の地域包括ケアシステムの構築に取り組んでまいります。

また本年は、「室戸阿南海岸国定公園指定五〇周年」「四国霊場開創一〇〇〇年」にあたる記念の年であります。さらに「全国井サミット」が本町で開催されます。美波町を全国に発信するまたとないチャンスでありますので、「お・も・て・な・し」の心を持って迎え、豊かな自然、味覚、特産品など美波町の魅力をお伝えしたいと考えています。

本年は、長引くデフレ不況からの脱却に向けた政府の大胆な経済政策の展開により、景気回復への期待感が膨らむものの、国内の政治、経済、社会環境及び近隣諸国を含む国際関係も予断を許さない状況にあります。本年も「住んでよかったと実感できるまち」の実現に向けて、職員共々努力を重ねて参りたいと決意も新たにしているところでありまします。本年もどうか温かいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに本年の皆様にとりまして、元氣と活力に満ちた飛躍の年となりますことを心からご祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。